

まちの話題



花輪線から見る 鹿角の未来

2月9日交流センターで、JR花輪線に焦点を当て、地域の魅力の再発見と地域産業の活力を探る市民講座が開催されました。

作家で鉄道写真家の矢野直美さんは、「花輪線は紅葉が美しいので、紅葉列車という看板を掲げるだけでもいい。また、雪かきの様子が見られることは大きな魅力だ」と語り、花輪線を「観光列車」としてPRすることを提案しました。地域エコノミストの藻谷浩介さんは、「鉄道が存在することは大きな意味がある。それを乗らない人にも気づいてほしい」と語りました。



土深井裸まいり

十和田末広地区の土深井集落に伝わる土深井裸まいりが2月16日に行われました。土深井裸まいりは、江戸時代初期の寛文年間から受け継がれている伝統行事で、二年に一度行われます。

裸にふんどし姿の男衆は、冷たい沢水をかぶって身を清めました。この日は風が強く、身震いするような寒さの中、勢いよく水をかぶる姿に観客から大きな歓声が巻き起こっていました。

身を清めた後は、早朝から丹念に作った大きなしめ縄を



稲荷神社の鳥居に奉納し、五穀豊穰、無病息災、交通安全などを祈願しました。

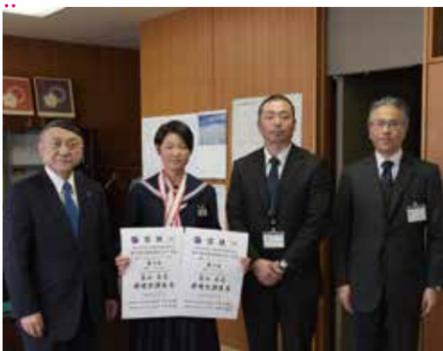


全国中学校スキー大会 女子クラシカル準優勝

全国中学校スキー大会の結果報告のため、八幡平中学校三年生の畠山香恋さんが、2月14日に児玉市長を訪れました。

畠山さんは、女子2.5kmクラシカルで準優勝、女子2.5kmフリーで3位に輝き、二種目で表彰台入りを果たしました。

「掲示板に自分の名前が載ったときはうれしかった。これからも練習を頑張りたい」と抱負を述べる畠山さん。これに対し、児玉市長は「将来も地元で頑張してほしい」と今後の活躍を期待しました。



ネクスト農塾

2月4日にネクスト農塾の入塾式が行われ、市内の若手農家が塾生として集まりました。

阿部副市長は、「農業を取り巻く環境が非常に厳しくなってきた中で、この塾で勉強したことを活かして自分の農業を大きなものにしていくという期待しています」と期待の言葉をかけました。

また、塾生代表の綱木さんは「この塾でさまざまなつながりを作り、協力し合いながら頑張っていきたい」と活動の抱負を述べました。



野菜づくりのコン講座

2月6日、文化の社交流館コモッセで「野菜づくりのコン講座」が開かれ、多くの市民が参加しました。

講師に農山漁村文化協会の水野隆史氏を招き、手間をかける栽培方法や身近なものでできる病害虫対策、収量を増やす方法など、すぐに実践できる野菜づくりの裏ワザを学びました。

参加者はメモを取るなど熱心に耳を傾け、時折驚きの声をあげていました。



百歳長寿を祝う 関ハチエさん 斉藤キミさん

関ハチエさん（大正9年花輪生まれ）が1月22日に、斉藤キミさん（大正9年八幡平生まれ）が1月24日に、それぞれ満100歳の誕生日を迎え、児玉市長が顕彰状と祝い金を贈り、長寿を祝いました。

関さんは、日ごろから周りへの感謝を忘れず、「二人では生きてこれなかった。皆に支えられてこまできた」と話しており、長寿の秘訣は、何でも食べ、何事も一生懸命取り組んできたことだそうです。斉藤さんは、体を動かす活動に積極的に取り組み、レクリエーションの際には、得意の手踊りをして楽しんでるそうです。長寿の秘訣は、ご家族を戦争で亡くしたため、「みんなのために長生きする」という気持ちで強く持ち、頑張ってきたことではないかと話しています。



関ハチエさん



斉藤キミさん